

地域だより
三原

「京都研修旅行」に参加して

三原支部 沖 正明

三原支部では毎年、「三原市歴史的建造物調査研究会」と一緒に研修旅行を行っています。今年も三原城築城450年・小早川隆景公没後420年に当たり、6月11日(日)に、小早川家ゆかりの京都の大徳寺塔頭「黄梅院」と、京都御所を訪れました。



黄梅院 庭園

参加者総勢35名で、朝7時に三原市役所を出発。お昼前に大徳寺に到着しました。大徳寺塔頭大慈院の敷地内にある、鉄鉢精進料理店「泉仙大慈院」で昼食。午後に塔頭「興臨院」を拝観し、「黄梅院」に到着しました。本院は永禄5年(1562年)、織田信長の父・信秀の追善供養のために創建された「黄梅庵」が前身。後に、亡くなった小早川隆景の法名をとり、「黄梅院」と改称されました。天正14年(1586年)に豊臣秀吉が本堂を、小早川隆景が庫裡・鐘楼・客殿を寄進し、加藤清正が鐘楼の鐘を献上。現在これらの本堂、唐門、庫裡は国指定重要文化財であり、中でも隆景が寄進した天正17年(1589年)造営の庫裏(僧侶の居住空間兼台所)は、現存する禅宗寺院の庫裏としては最古のものです。千利休が作庭した秀吉の軍旗「千成瓢箪」を象った空池を持つ枯山水庭園「直中庭」等、桃山時代の戦国大名、文化人と非常に縁の深い寺院です。



小早川隆景の墓塔

また、本院は毛利家の菩提寺で、毛利家、織田家の墓所の他に、非公開ですが、毛利元就、小早川隆景、織田信秀、蒲生氏郷の墓塔があります。

京都御所は古来の内裏の形態を今日に保存しているものですが、幕末の嘉永7年(1853年)に焼失し、現在のものは安政2年(1855年)に寛政内裏の様式をほぼ踏襲して再建されたもので、「安政内裏」と呼ばれています。見学は宜秋門からスタートし、京都御所に現存する主な建物として紫宸殿・清涼殿・小御所・御学問所・御常御殿・御三間・迎春・御涼所・皇后御常御殿・若宮御殿・姫宮御殿・飛香舎・玄輝門及び多くの庭園など、平安時代以降の建築様式の移り変わりをつぶさに見ることができました。



興臨院 庭園

今回の実地研修に参加することで、これらの歴史的建造物をつぶさに見学することができる機会を得て、歴史を知り、これらの建築様式を伺うことができ、大変勉強になりました。これからも研修の機会を多くの方に利用していただき、お互いに研鑽できればと思います。



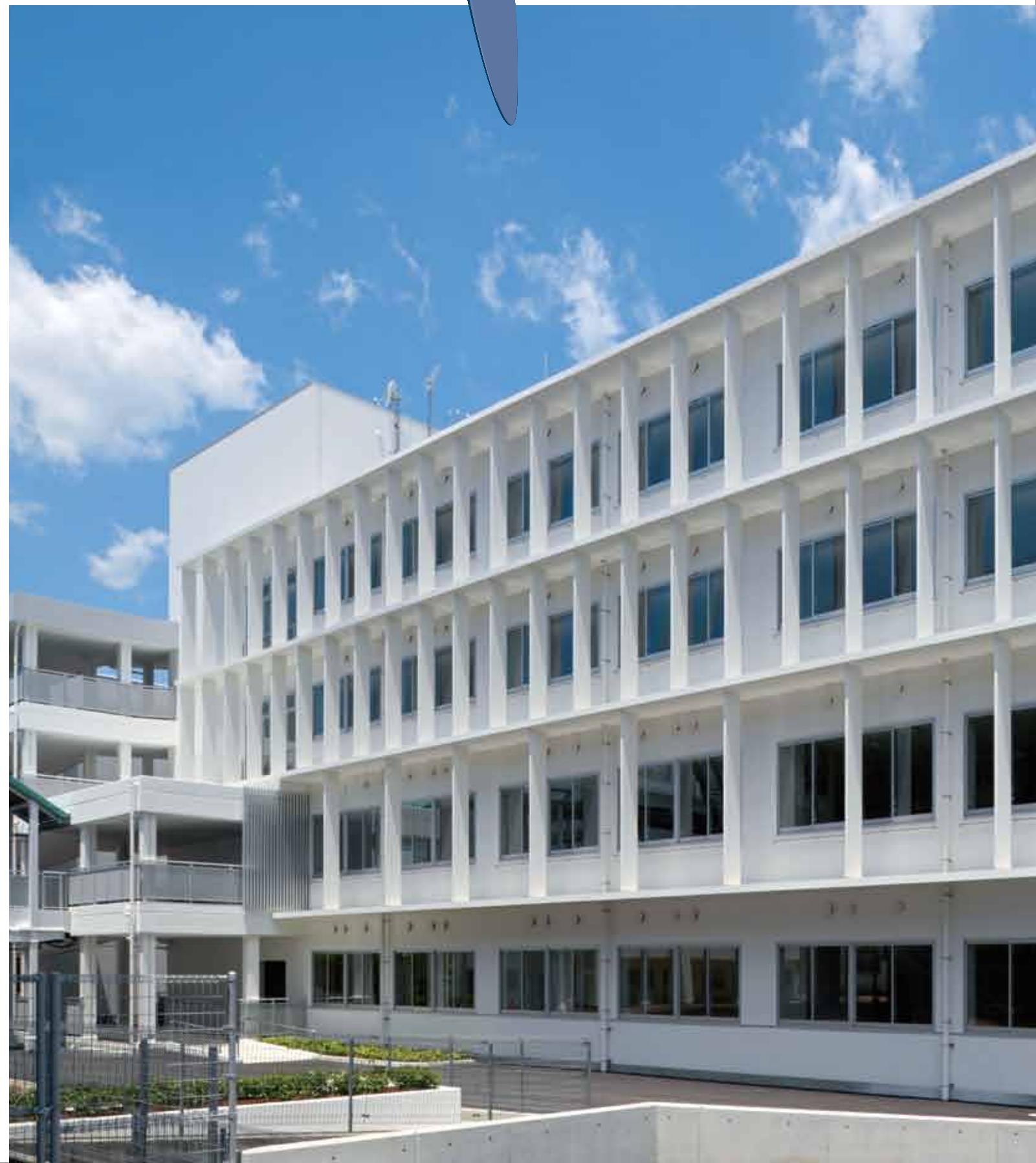
黄梅院での集合写真

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.125 平成29年9月1日発行
 発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
 TEL (082)244-6830(代) FAX (082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
 e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 元廣 清志
 編集人 広報委員長 神岡 千春

MONTHLY 建築士
 No.125

IROSHIMA



表紙写真について

広島工業大学高等学校 3号館新築工事

- 設計監理/株式会社フジタ広島支店一級建築士事務所
- 施工/株式会社フジタ広島支店
- 所在地/広島市西区
- 用途/高等学校 校舎
- 構造規模/鉄骨造 地上2階建・塔屋1階
- 建築面積/1,272.79㎡
- 延床面積/4,527.74㎡
- 竣工/平成29年6月



本年度、38年ぶりに男女共学を再開し、アクティブラーニングに積極的に取り組まれている広島工業大学高等学校の新校舎です。計画当初から、教職員の方々と、将来を見据えたICTの活用を考慮しながら計画を進めていきました。

内部は普通教室(12室)、特別教室(家庭科実習室・美術教室)、教員室等で構成されています。2階は、アクティブラーニング授業を行うフロアとし、プレゼンテーションエリアや、ライブラリーを併せ持つ教育の場として整備しています。また、国際交流の場として和室を設け、日本の文化を伝える空間にもなっています。

外観は既存校舎群との調和に配慮し、白色を基調としたシンプルなデザインとしています。南面には遮光機能をもつ縦ルーバーを設け、建物のアクセントとしています。



CPD認定プログラム(9~10月の広島県内実施分)

8月7日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
9/13	建築スタイルと外観コーディネート・初級編	2	ケイミュ	082-245-0354
9/14	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/20	「鉄骨造を用いた公共建築物の可能性」講習会	3	日本鋼構造協会	03-3516-2151
9/23	H29 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会②	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/26	既存住宅状況調査技術者講習(新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
9/27	信頼を生み出す建設現場を目指す~コンプライアンスと安全管理~	6	インターウェブ	099-812-0677
10/3	外注(協力業者)への折衝場面に強くなる講座	6	広島県建設工業協会	082-511-1430
10/14	H29 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会③	6	広島県建築士会	082-244-6830
10/18	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-01)	6	建築技術教育普及センター	082-245-8055
10/19	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
10/19	workcise(ワークサイズ)~働きながら健康づくりを促すオフィス空間~	2	イトーキ	03-5566-7211
10/19	地域の森林資源を活かす地方創生のカタチ~森林・林業・木材関連施策と事例紹介~	2	イトーキ	03-5566-7211
10/19	都市で木をつかうこと~これからの木造建築と木のデザイン~	2	イトーキ	03-5566-7211
10/20	workcise(ワークサイズ)~働きながら健康づくりを促すオフィス空間~	2	イトーキ	03-5566-7211
10/20	地域の森林資源を活かす地方創生のカタチ~森林・林業・木材関連施策と事例紹介~	2	イトーキ	03-5566-7211
10/20	都市で木をつかうこと~これからの木造建築と木のデザイン~	2	イトーキ	03-5566-7211

ぷろじえくと ニュース

国際交流フェスティバル 「ぺあせろべ2017」を開催します! ~フードフェスタ2017の隣で開催~

広島支部

「ぺあせろべ」とは、“peace”&“love”の造語。世界中の様々な国の方との交流を通じて、国や文化について知る機会です。世界の都市や建築のパネル展示、様々な国の料理、ステージ(演奏・舞踊等)もあります!

また、林野庁事業として地域材を活用した子ども向け体験コーナーも同時開催予定です。是非、ご参加ください!

今年も「酒まつり」に参加します

東広島支部

恒例の西条「酒まつり」が10月7日(土)・8日(日)、西条酒蔵通り他で開催されます。東広島支部では毎年、「漆喰手形づくり」のイベントスペースを設け、市民の皆様「建築」をより身近に感じていただけるよう取り組んでいます。幸いにも多くの子どもたちに参加していただき、リピーターも出るくらいに定着。今年もバージョンアップした「漆喰手形づくり」を企画し、10月7日に出店いたします。先着300名(無料)まで受付可能ですので、是非ご家族でお立ち寄りください。場所は、西条駅からロータリーを抜け最初の交差点(東西に延びる道が旧山陽道)を右折。飲み屋街に寄り道せず、道なりに行っていただくと可愛い橋があり、その先です。(近づけば雰囲気分かるとおもいます。)皆様のお越しを心からお待ちしています。



- 日時 10月29日(日) 午前10時~午後4時
- 場所 中央公園芝生広場(中区基町)
- 内容 ①ステージ(楽器演奏、舞踊など)
②ブース(世界の国の文化紹介、交流)
③その他(ゲーム大会など)
- 主催 ぺあせろべ2017実行委員会、(公財)ヒロシマ平和創造基金
- 協力 (一財)広島国際文化財団
- 後援 (公財)広島平和文化センター



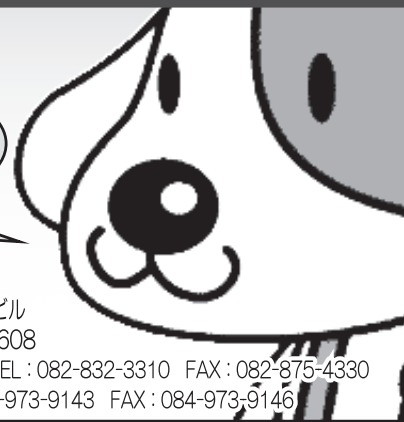
竹中工務店は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、手掛ける建築の一つひとつを丹精込めてつくってきました。これからも絶えず人々との対話を重ね、技術の研鑽を続けることで、時代が求める最良のソリューションを提供していきます。そして、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。



中国エリアをすっほりカバーしています

広島本店: 広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608
広島北支店: 広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL: 082-832-3310 FAX: 082-875-4330
福山支店: 福山市西梁津町 1-10-1 TEL: 084-973-9143 FAX: 084-973-9146

Energia 中国電力グループ
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
http://www.jutakuhosho.com/

新築住宅

環境 ECO 対策

店舗デザイン

マンション修繕工事

賃貸マンションプロデュース

内外装リフォーム

電気事業

公共他工事

株式会社

ティーエス・ハマモト

新築工事から住宅リフォーム

マンション改修まで

お任せ下さい!

〒731-0135

広島市安佐南区長束 4丁目 16-2

TEL:082-238-1511 FAX:082-238-1513

ティーエス・ハマモト

検索

第27回 全国女性建築士連絡協議会に参加して

社会活動委員会 女性部長 野口 美保

第27回全国女性建築士連絡協議会が、7月15日(土)・16日(日)と2日間にわたって東京で開催されました(会場:日本建築学会建築会館)。今年のテーマは、「未来へつなぐ居住環境づくり～和の空間を考える～」。近年、和室を持つ住まいが少なくなっています。失われつつある和の空間について考えると共に、和の空間・和の要素を改めて捉え直し、これからの居住環境づくりに活かしていこうというもので、全国から250名を超える女性建築士が参加しました。博物館「明治村」館長であり早稲田大学名誉教授である、中川武先生の基調講演、北海道建築士会で実践された住教育講座、宮城建築士会の「ノベオカノマドハウス」というリノベーションプロジェクト、被災地の報告、8つに分けられた分科会での活発な議論等、充実した時間を過ごすことができました。

■7月15日(土)

- ・全国女性委員長(部会長)会議
- ・開会式
- ・活動報告 「高校住教育講座～はじめての1人暮らし～」 (北海道建築士会)
- 「ノベオカノマドハウス」リノベーションプロジェクト (宮城県建築士会)
- ・被災地報告 「かまいし未来のプロジェクト」 (岩手県建築士会)
- 「2011 東日本大震災以前から、そして以降、女性会員が参加している活動の報告」 (宮城県建築士会)
- 「ふくしまの現状」 (福島県建築士会)
- 「熊本地震発生～457日 熊本での活動報告」 (熊本県建築士会)
- 「熊本地震における九州ブロック青年女性協議会の取り組み」 (佐賀県建築士会)
- 「鳥取県中部地震状況報告」 (鳥取県建築士会)
- ・基調講演 「和の空間を考えるー居住空間にとって美とは何かー」
- 講師:博物館「明治村」館長・早稲田大学名誉教授 中川 武氏
- ・交流会

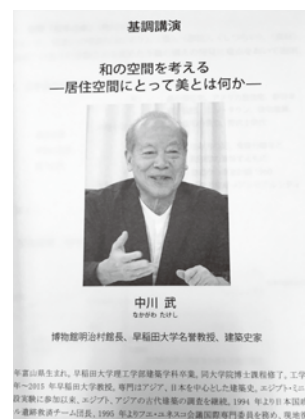
■7月16日(日)

- ・分科会
- A:「防災への取り組み」 (高知・広島)
- B:「地産地消のすまい」 (宮城・福島)
- C:「歴史的建造物と建物再生」 (愛知・三重)
- D:「環境共生住宅」 (佐賀・宮崎)
- E:「自治体連携とまちづくり」 (富山)
- F:「子どもと住環境」 (北海道・東京・愛媛)
- G:「高齢社会と住まい」 (大阪・兵庫)
- H:「既存ストックの活用」 (東京)
- ・全体会 分科会報告、全体総評、閉会の辞



■基調講演 「和の空間を考えるー居住空間にとって美とは何かー」

歴史を専門とされる中川氏は、古代～近代と時代に即しながら変遷してきた日本の住宅について語って下さいました。歴史のターニングポイント(制度、技術、宗教)は、日本の伝統的家里にある様々なモノ(境界空間、仕切り、場、部位、しつらい、素材、象徴)を失っていく、あるいは変化する契機であったという話から始まりました。中川氏の著書「日本の家」では、伝統住宅にあった多様な用語(三和土、土庇、囲炉裏、勝手など)は、用語の部位そのものを失ったのではなく、そこにある懐かしさ(家族関係、近所付き合い、季節感など)を失ったのではないかと述べられています。居住空間の美も、自由にデザインに溢れた表層の形態ではなく、趣や振る舞いなど、現代の身軽な住宅にはない住まい方にあること、そして居住空間に出産・葬式といった生を意識する時間構造や、接客や祭りなどの共同体を担う空間構造に存在するのではないかといいました。昔ながらのものが姿を消していくことに不便を感じないけれど、なぜか残念な気持ちになる理由がそこにあったのだと気付かされる内容でした。



分科会A:「防災への取り組み」

野口 美保

分科会Aでは、広島県はコメンテーターとして参加。司会進行を務めていただいた高知県の方と一緒に、この分科会へ向けての準備を進めてきました。当日は18名の参加がありました。

まず広島県の防災企画として行った、「見つけて学ぶ☆たても防災探検隊」についての活動報告を行いました。防災をテーマにした事業には、DIG(防災連想ゲーム)や「紙ぶるる」を使用した耐震啓発活動、非常食や防災グッズなど多く存在しますが、「見つけて学ぶ☆たても防災探検隊」は、建物に設置された階段や防火戸、誘導灯といった防災設備に着目した企画で、以下の3つをポイントに置いて構想したことを説明しました。

1. 建築士の日常業務である防災計画を一般の人と共有することは、職能を活かすことに繋がる。また建築的な要素を含むため、建築士が行うイベントとして一般の人にも伝わりやすく、PRになる。
2. 卓上で行うレクチャーより、実際に歩いて目で見るとの体験を伴うことで情報取得効果を上げ、「防災」という取り組みに親近感を持ってもらう。
3. いざという時の不安を取り除く情報提供とし、防災に対して積極的な思考が持てること。そして、「天災は忘れたころに来る」という警句を払拭できるよう、継続して防災レクチャーなどを行うことが重要。

次に、実際の企画進行と内容についてご紹介しました。AB選択のクイズ形式として作成した防災紙芝居、そして実際に建物内でルートを設定し、防災設備のある場所(階段、代替出入口、送水口、防火戸、防煙垂壁、



分科会C:「歴史的建造物と建物再生」

福馬 晶子

現在、全国でヘリテージマネージャーが養成され、「歴史的建造物の保存・再生・活用」の活動が全国に広がりがつあり、課題も増えています。特に、歴史的建造物を継続的に保全し、活用していくために、公費に頼ることなく事業として確立していく仕組みが求められています。

まずは、三重県亀山市を中心に活躍されている中浦豊子氏に活動を紹介していただきました。中浦氏たちは、亀山の重要伝統的建造物群の関宿の中で、特定以外の建築の調査を行ってマップを作成し、細部意匠を調査して図面化し、デザインカタログを作成。登録有形文化財の白川小学校を使って公開講座が行われています。2014年には、亀山文化資産研究会を結成されて

います。

中浦氏の講演の後、グループに分かれて各地の活動状況や、悩みや課題について話し合いました。広島県建築士会からは3人がこの分科会に参加していましたが、それぞれ広島県建築士会内での活動や、建築士会とは別に行っている「アーキウォーク広島」での被服支廠の調査や見学会などについて報告し、悩みを相談しました。具体的に有意義な話し合いができたように思います。



それぞれの地域で取り組まれているまちづくり活動は、内容の差こそあれ、ボランティアの範囲を出りません。しかし今回、分科会で伺った富山県建築士会の活動は、士会会員それぞれの得意分野を生かし、仕事に結びつけることができた事例を含む報告でした。

富山県建築士会は、氷見市と「まちづくり支援に関する協定」を締結し、建築士会と行政の連携によるまちづくり活動をされています。自治体と連携協定を結びきっかけは、氷見市がまちづくりの拠点として整備しようとしていた「氷見市まちづくりバンク」の存在を知り、毎月、士会員が得意とするテーマで発表するまちづくり活動の場として利用を始めたことからでした。当時の氷見市長の政策に対する取り組み方を伺うと、漸進的で物事の枠にとらわれない柔軟な考え方を持たれていたようで、高校の体育館を市役所に再利用されたり、色々な政策について市民とのワークショップを重ね、民意を汲み取る努力をされたようです。まちづくりバンクでの実績、街並み写真パネル展や空き家調査など、地道に、でも着実に建築士会としての実績を重ねる中、子育てセンタートイレ改修における方向性のプログラム作りなど、行政との協働が始まってきたそうです。改修工事のためのワークショップやプロポーザルによる設計者選定、設計アドバイスや内装ワークショップ、結果として皆で作ったトイレが完成し、好評価を受けました。

実績が付くと相談も受けやすくなるようで、景観に配慮した公園の中に建設される公衆トイレについて行政から相談を受け、景観に配慮したイメージの提案、当初予定されていたユニット型と現場施工の金額比較、図面作成など、結果的には予算が付き、建築士会の提案したトイレが実現することとなったそうです。

そういった日々の積み重ねが実を結び協定へと進んだようですが、協定を結ぶまでには色々と紆余曲折あったと伺いました。協定締結後は具体的に取り組む課題について話し合いが行われ、最初の取り組みとして空

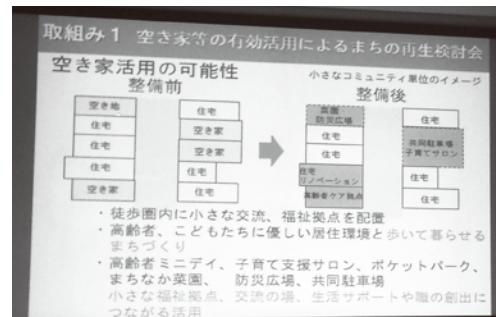
き家や空き地を活用した中心市街地の活性化デザインの見直しから進められることになりました。まずは取り組み対象地域を選定し、課題の抽出と街区デザインのワークショップの開催です。地域の中で話し合う場を持つ必要と意義について、また地域デザインを考える時、自分の家は地域の中では部屋であり、道路は廊下、街区が家と考えて町を見ると言われ、住民がお互いさまと思えることができれば、よりまとまりのあるまちが見えて来るのかもしれない。

またNPOからの相談に応じ改修計画が進行中であった青野倉庫改修工事に携わることになったきっかけは、建築士会がまちづくり支援の協定を結んだことで依頼があり、結果的に仕事に結びついた事案でもありました。予算1千万、工期2カ月半。建築士会のメンバーで取り組み、収益を生む事業にできた事例です。

発表者はこう言われました。「建築士会の会員は色々な職能を持つ集団。だから得意分野を持ち寄れば、色々なことができる。皆でやることが建築士会である強み。皆が主役で、皆です。だからこそ色々な人が参加できる仕組みを考えて、皆に役割を振って、皆で参加すれば良い」。確かにそうかもしれない。最初はボランティアでの取り組みでも、それを仕事に繋げていける仕組みがあったなら、建築士会の社会的認知度が上がり、建築士会に参加する人が増えるかもしれない。そう強く感じました。

この2本のプロジェクトと行政との運営協力事業など、3支部から活動メンバーを構成し、行政からも色々な部署を横断的にまたぐメンバーが参加し、協働のまちづくりを行っているそうです。

今年度は、空き家活用促進の仕組み実験として、改修した青野倉庫でDIYリノベーション塾の開催や、実際に古民家や空き家を活用されている地域の視察、ネットワークの形成、景観計画の推進、市街地活性化の現場活動など、成果が目に見える活動の実施を予定されているそうです。



来年度は、平成30年7月28日(土)・29日(日)に高知で開催予定です。建築士であれば、どなたでも参加できます(男女共)。

呉中通商店街「2丁目商店街ベンチづくりプロジェクト」第2弾が始動しました

呉地区支部 福島 仁美

呉中通の「2丁目商店街ベンチづくりプロジェクト」事業の第2弾が始動しました。前回設置した「タマゴベンチ」の、通りを挟んだ時計店前に設置される予定で、今回のプロジェクトもまちづくり活動の一環として行うものです。「地域の人の手によって制作されたベンチを、地域の商店街に設置していく」という目的は昨年度と同じですが、今年度は今後の展開の参考にするためのテストケースとなる、いくつかの挑戦も含まれた活動になっています。



ベンチのデザインは前回の実績を踏まえ、呉工業高等専門学校建築学科に依頼しました。呉工専建築学科では、学年を縦割りにして分けられたデザインチームを設けるなど、第1弾とはまた違った取り組み方をされており、学科としての期待も掛けられているようです。

ベンチを設置する予定の時計店様は、前回のベンチプ

ロジェクトをよくご存知で、たとえ有償であってもベンチを製作してもらい、まちづくりに貢献したいとの思いで名乗りを上げられました。学生さんにとっても、時計店という特徴をどう捉えるかなど、大きな学びの場となることは間違いのないものと思います。プレゼンテーションでは、当初30種類出されていたデザイン案の中から2種類が選考され、模型を使って解説されました。ここでは具体的な材料、サイズ、構造など、実現化に向けた質疑が盛んに交わされ、店主様も熱心に聞き入っておられました。

今後は、店主様の家族内協議により要望がまとめられ、学校の方でも、案を持ち帰り、更にブラッシュアップされる予定です。

呉地区支部では、本活動を通じて、賛同いただける地域の繋がりを広く築いていきたいと考えています。本プロジェクトは、平成29年度の1年をかけて進行する予定です。今後の動きにもご期待ください。

安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974



「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに
より確かなサービスを提供します



- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) 評価業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務 (フラット35)
- 調査診断業務 (違法性調査等)
- すまい給付金関連業務
- 登録住宅性能評価機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 耐震診断判定業務



株式会社 ジエイ・イー・サポート

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
支店: 東京 事務所: 福岡
e-mail: mail@jesupport.jp